



関東地方の揺れやすさ分布特性

栗田哲史¹⁾、高橋聡²⁾、安中正³⁾

1) 正会員 東電設計株式会社、博士 (工学)

e-mail : kurita@tepsco.co.jp

2) 東京電力株式会社

e-mail : takahasi.satoru@tepcoco.jp

3) 正会員 東電設計株式会社

e-mail : annaka@tepsco.co.jp

要 約

本研究は、各種機関の地震観測網によって観測された記録を用いて、関東地方における揺れやすさの空間的分布特性について検討したものである。揺れやすさの空間的分布特性は、観測記録と経験的に得られる平均的な地震動強さとの差異として抽出した。ここで、地震動強さとしてはPGA、PGV、計測震度の3種類を対象としている。72地震の観測記録を用いて統計的处理により検討した結果、PGVと計測震度の空間的分布特性については、表層地盤の増幅特性の影響を強く反映していることが分かった。また、いずれの地震動強さ指標の空間的分布特性にも、表層地盤の増幅特性だけでなく、震源特性や伝播経路特性などが影響していることが明らかになった。

キーワード： 地震動強さ、空間分布特性、強震観測網、地盤増幅、関東地方